

事務事業名	公営住宅除却事業	所属部	建設部	所属課	建築住宅課
政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち《定住環境》	所属G	建築営繕G	課長名	神庭 和幸
施策名	〈09〉都市・住まいづくりと土地利用の推進	担当者名	石原 優奈	電話番号	0854-40-1065
目的・対象	市内全域	意図	有効かつ効果的に利用・整備する。	(内線)	2453
基本事業	〈027〉居住環境の整備促進	予算科目	01400201	大事業名	公営住宅建設事業
目的・対象	市内全域	意図	居住環境が向上する。	中事業名	公営住宅建設事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
公営住宅	・健全な住宅を管理
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返(年度～) ☒ 期間限定複数年度 (R1 年度～ R10 年度)	「雲南市公営住宅等長寿命化計画」に基づく公営住宅の除却事業。 ・事業期間: R1～R10年度(長寿命化計画期間) ・解体計画戸数: 124戸(大多和16戸、中村30戸、東谷16戸、村方6戸、基町38戸、三刀屋8戸、緑ヶ丘10戸)
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) ・村方団地 2戸(1棟) ・川井団地 1戸(1棟)(定住促進住宅) ・西の宮団地 4戸(2棟)(R11以降に建替えを実施予定であるが、老朽化が著しいため前倒しで除却を実施)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 現状把握に基づき事業手法を定め、用途廃止や建替により適正な計画管理戸数を設定して良好な住宅ストック形成を目指すため、平成30年度に「雲南市公営住宅等長寿命化計画」を策定。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 公営住宅除却進捗率	%	9.7	30.6	36.3	38.7
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
・アスベスト調査費…2,563千円 ・工事費…15,873千円 【内訳】村方団地…4,541千円 川井団地…3,082千円 西の宮団地…8,250千円 ・事務費…703千円 【合計】 19,139千円 ※国庫支出金: 社会資本整備総合交付金 地方債: 公営住宅建設事業債	財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源	千円		27,723	2,002	0
		千円				
		千円		36,700	16,400	9,100
		千円				
		千円		80	737	900
	事業費計	千円	0	64,503	19,139	10,000

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	耐用年数を経過して老朽化の著しい住宅や土砂災害特別警戒区域内となる危険な住宅等を除却することで、市民が安全安心に暮らすことができる。
② 事業実施するうえでの課題	公営住宅等長寿命計画に沿って実施することも必要であるが、現状における住宅の状態を把握し、実施の判断を行うことが重要である。 一般財源の支出抑制に努め、適正な事業費で整備を行う。
③ 課題解決に向けた改革改善等	現状で老朽化が著しく危険性の高い住宅があったため、総合的に判断をして除却を実施した。 対象範囲は限られていたが、社会資本整備総合交付金を活用し、事業費の約1割を充当した。